

※ 今週のアウトルック(2/7~2/11)

先週は週中あたりまで円高が進みましたが、木、金曜日は円安が進む形となりました。週末に発表された米国雇用統計(非農業部門雇用者数)は予想を大幅に上回る結果となり、米国債利回りが急上昇、ドル高が進みました。

今週は、米国雇用統計の好結果の影響がどの程度まで広がるかを、まずは見極める必要があります。各通貨ペアともレジスタンス付近まで到達しているものが多いため、このままレジスタンスブレイクできればさらなる上昇が期待できそうです。

先週のドル円は金曜日の米国雇用統計の好結果を受けて、115.5円付近まで上昇しました。ただ、NY市場の後半ではレジスタンスブレイクに挑むような動きはあまり出ていないようです。

今週は、月曜日に利益確定の動きが活性化しない限り、115.5円付近のレジスタンスブレイクに挑む動きが強まりそうですが、何度かトライしてブレイクできなかった場合には114円付近まで一度後退する可能性が強まりそうです。

ドル円の予想レンジは114円から117円です。

先週ユーロ円は、週末には132円付近まで到達しています。ユーロドルが木曜日に急上昇したところが大きいですが、1.15付近のレジスタンス付近にとすでに到達しているためブレイクできなければ、1度1.13付近まで後退する可能性はありそうです。

ユーロ円もユーロドルがレジスタンスブレイクできれば、133.5円付近まで上昇する可能性はあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは129円から133.5円です。

ポンド円は156円付近まで順調に上昇しましたが、ポンドドルの動きに調整色がやや強まっています。

早い時期に158円付近まで到達できない場合には、155円を挟んだレンジ的な動きになる可能性もありそうです。

ポンド円の予想レンジは152円から158円です。

欧米で利上げに関するコメント増える中、円安が進む条件が整いつつあるようにも思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。